

認定

〜島原半島ユネスコ世界ジオパークを感じる〜 九州オルレ『島原コース』 2月23日オープン

「オルレ」とは？

「オルレ」は韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州島の方言で「通りから家に通じる狭い路地」という意味。

自然豊かな済州島で、トレッキング（山歩き）する人が徐々に増え、「オルレ」はトレッキングコースの総称として呼ばれるようになり、今では韓国トレッキングの中心的コースになっています。

オルレの魅力は、海岸や山などを五感で感じ、自分のペースでゆっくりとコースを楽しむところにあります。

「九州オルレ」とは？

九州オルレは、済州オルレの姉妹版。

済州島と同じように九州には四季の美しい風景があり、その土地の歴史や食なども楽しみのひとつとなっています。

九州オルレのスタンプラリーも実施していますので、各コースならではの魅力を体感しに出かけてみませんか。

コース概要

▼オープン日 2月23日(日)

▼距離 10.5km

▼所要時間 3時間30分〜4時間

▼スタート地点 島原港ターミナル（島原港観光案内所にスタンプ設置）

▼フィニッシュ地点 ひょうたん池公園

▼難易度 中級

▼コース特徴

・テーマは「火山」

・「火山」を感じながら歩けるコース

・海岸線から山間部までを含んだコースになっており、「山+海」「山+まち」「海+まち」の風景を楽しむことができる
※詳細は次ページMAP参照



オープニングセレモニー

▼とき 2月23日(日)

10時30分

▼ところ 秩父が浦公園

※「オープニングイベント」については、後日市ホームページでお知らせします

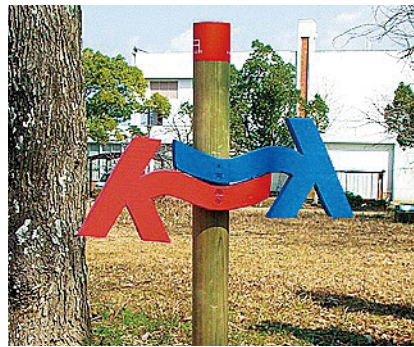
「カンセ」

カンセとは、済州島の馬をモチーフにしたオブリジェ。コースの目印として使われており、馬の頭の方に進みます。



「木製の矢印」

方向が変わる時などに、木製の矢印や石などにペイントされた矢印があります。青色はスタート地点から正方向のルート、朱色はフィニッシュ地点から逆方向のルートで歩くことを表します。



「リボン」

朱色と青色のリボンを探して歩きます。見失わない間隔で木の枝や電柱などに結んでいます。

進む方向がわからなくなった時は一度立ち止まって周りを見渡しましょう。



楽しく歩けるコースなので、みんなも歩いてみてね！



⑤ 湧水スポット われん川



⑩ フィニッシュ地点 ひょうたん池公園



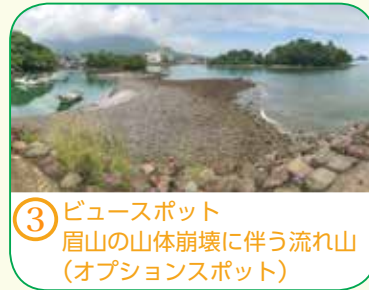
～島原半島ユネスコ世界ジオパークを感じる～
九州オルレ
「島原コース」MAP



① スタート地点
島原港ターミナル



② 休憩スポット
秩父が浦公園



③ ビュースポット
眉山の山体崩壊に伴う流れ山
(オプションスポット)



④ ジオと火山の体験ミュージアム
雲仙岳災害記念館
(オプションスポット)



⑥ 休憩スポット
火砕流最長到達地点
(ふかえ桜パーク)



⑦ ビュースポット
吉祥白天橋からの眺望



⑧ ビュースポット
晴れているときは熊本・天草
まできれいに見えます



⑨ 休憩スポット
仁田第一公園

「オルレのマナー」

- ① 民家の庭にみだりに入らない
- ② 人や個人のを撮影するときには同意をもらおう
- ③ ゴミは必ず持ち帰る
- ④ 道沿いの農作物を勝手に採らない
- ⑤ 道沿いに咲いている花や木の枝を採らない
- ⑥ 大声で叫んだり、騒いだりしない
- ⑦ 次に訪れる人のために、リボンを持ち帰らない
- ⑧ 道案内の看板にはさわらない
- ⑨ 未舗装の道は、決まった経路を通る
- ⑩ 車道を歩くときは、車に気をつけて歩く
- ⑪ コースから外れた急傾斜地等での危険な行動は控える
- ⑫ 途中出会う旅行者や地元住民の人たちと笑顔で挨拶を交わす

▼問い合わせ先 しまばら観光
おもてなし課 (☎内線212)

